

令和4年度春期 IT サービスマネージャ試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT人材教育研究部 2022,6,24

4月17日(日)に行われた令和4年度春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。IPAから発表された得点分布など統計データの分析をもとにして、ITサービスマネージャ試験の合格発表コメントをお知らせします。

■IT サービスマネージャ試験試験 (SM)

[令和4年度春期 IT サービスマネージャ試験 統計情報]

応募者	2,851人
受験者	1,954人
合格者	289人
合格率	14.8%

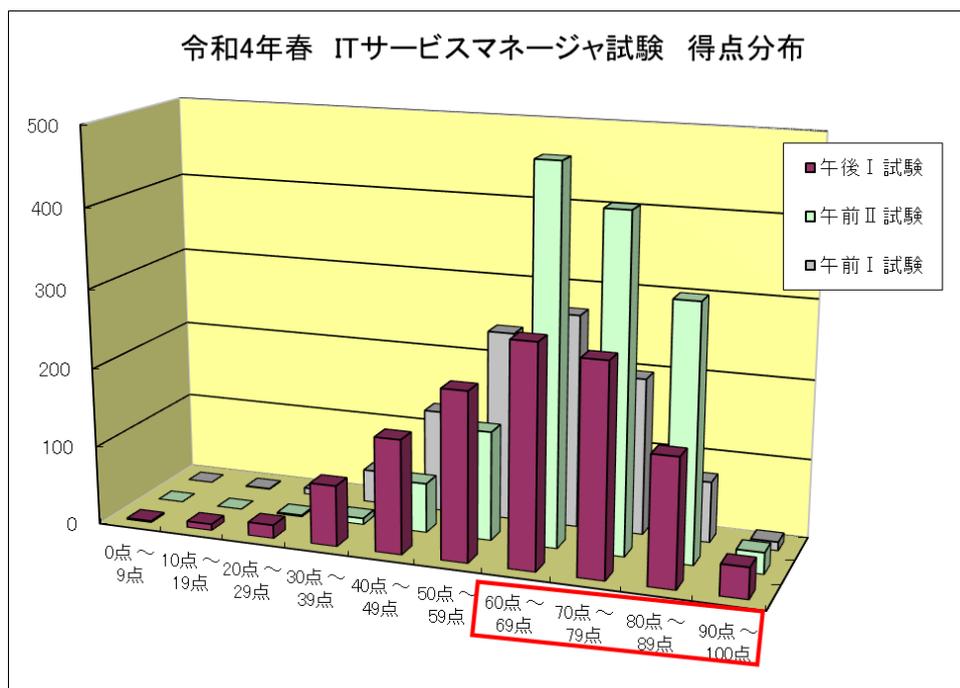
令和4年度春期のITサービスマネージャ試験の合格率は14.8%で前回の15.0%に対して微減ですが、平成21年以降の現在の試験制度になってから2番目に高い結果になっています。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[令和4年度春期 IT サービスマネージャ試験 スコア分布]

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	0	0	2	D 92	
10点～19点	1	0	8		
20点～29点	8	2	17	C 102	
30点～39点	42	8	77		
40点～49点	130	63	144	B 254	
50点～59点	240	138	212		
60点～69点	270	472	278	A 289	
70点～79点	198	420	264		
80点～89点	77	320	160		
90点～100点	11	27	39		
計	977	1,450	1,201	737	289
対前試験比率		148.4%	82.8%	61.4%	39.2%
午前Ⅰ免除者(概数)	977	50.0%			

合格者数	289	採点者数の割合	合格者数との差
午前Ⅰ60点以上合計	556	56.9%	267
午前Ⅱ60点以上合計	1,239	85.4%	950
午後Ⅰ60点以上合計	741	61.7%	452
午後Ⅱ-A評価	289	39.2%	0



午前 I 試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で 977 人 (50.0%) おり、受験者の半数の人が午前 II からの受験となりました。

午前 I 試験で基準点 (60 点) 以上の方は 556 人 (受験者の 56.9%) で、前回の 53.7% から少し増加しています。

午前 II 試験で基準点以上の方は 1,239 人 (受験者の 85.4%) で、前回 84.4% とほぼ同じです。

午後 I で基準点 (60 点) 以上取れた人は 61.7% で、前回の 55.3% から増加しました。

最後に午後 II の論述式試験で合格点 (A 評価) を取ることができた人は 39.2% で、前回の 44.5% から減少しています。

■令和 4 年度春期 IT サービスマネージャ試験 出題内容について

(午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題))

高度試験で共通して出される午前 I 試験の 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) 80 問から選ばれていて、テクノロジー系 17 問 (57%)、マネジメント系 5 問 (17%)、ストラテジ系 8 問 (26%) という出題比率です。

午前 I 試験には免除制度がありますが、高度試験の 4 割程度の方が午前 I 試験から受験しています。毎回、午前 I 試験を通過できる 60 点以上の得点者は 5~6 割で、出題範囲が広い試験は以外と難しく感じる人が多いです。最初の試験でつまづかないように、確実に対策を進める必要があります。問題内容は、文章問題は 18 問 (前回 15 問から増)、用語問題は 7 問 (前回 5 問から増)、計算問題が 3 問 (前回 2 問から増)、考察問題が 2 問 (前回 8 問から減) でした。これらは毎回増減がありますが、考察問題が今回かなり少なくなりました。

- ・問題は出題範囲からまんべんなく出題される前提ですが、前回と同様に、今回もヒューマンインタフェース、マルチメディアからの出題はありませんでした。
- ・重点的に出題されるセキュリティ分野の出題数は前回と同じ 4 問で、最も多い出題数です。
- ・過去問題はこれまで平均で 7 割ぐらいありましたが、今回も同じ傾向で 7 割強ありました。内容的にはこれまで繰返し出題されている定番問題が多いのですが、対策をあまりしなかった人には難しい内容ともいえます。全体としては前回より少し易しい内容だったと思われます。
- ・新傾向問題は次の 3 問で前回の 7 問からかなり減りました。これまでの平均は 4 問程度なので、

従来の傾向に戻ったといえます。

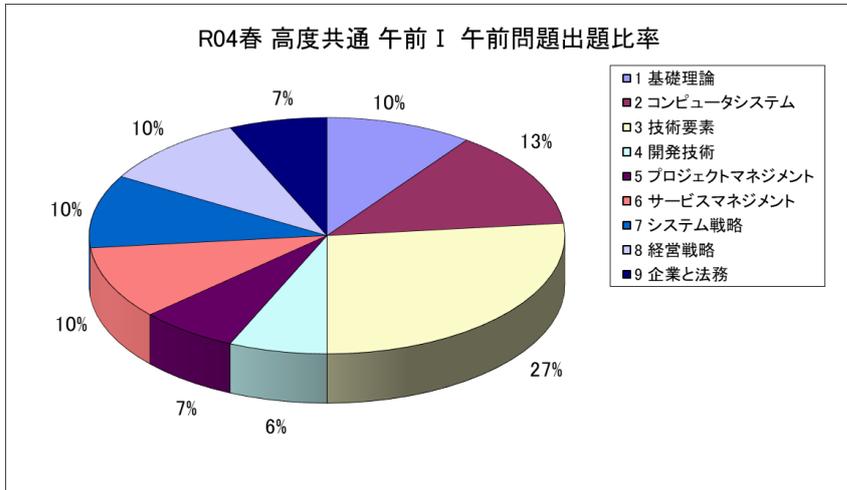
(新傾向問題)

問 5 アムダールの法則に基づいた、性能向上へ及ぼす影響

問 13 複数の Web サーバにシングルサインオンを行うシステム

問 24 投資によるキャッシュアウトをいつ回収できるかを表す指標

令和 4 年度春期 高度試験共通 午前 I 問題出題比率



(午前 II 試験 (専門知識問題))

IT サービスマネージャの午前 II 試験の重点出題分野はサービスマネジメント、プロジェクトマネジメントと今回から加わったセキュリティの 3 分野になります。出題数は、サービスマネジメント分野の 13 問に対して、プロジェクトマネジメントが 3 問、セキュリティが 3 問で、出題の中心はサービスマネジメント分野になります。

過去問題は約 7 割ありましたが、サービスマネージャ試験の過去問題は平成 26 年の 1 問、平成 29 年の 1 問と令和元年の 3 問の計 5 問でした。例年に比べて少なくなっています

新傾向問題としては次の 6 問があり、前回の 4 問から少し増えています。

問 1 サービスマネジメントシステム (SMS) の支援に関する要求事項

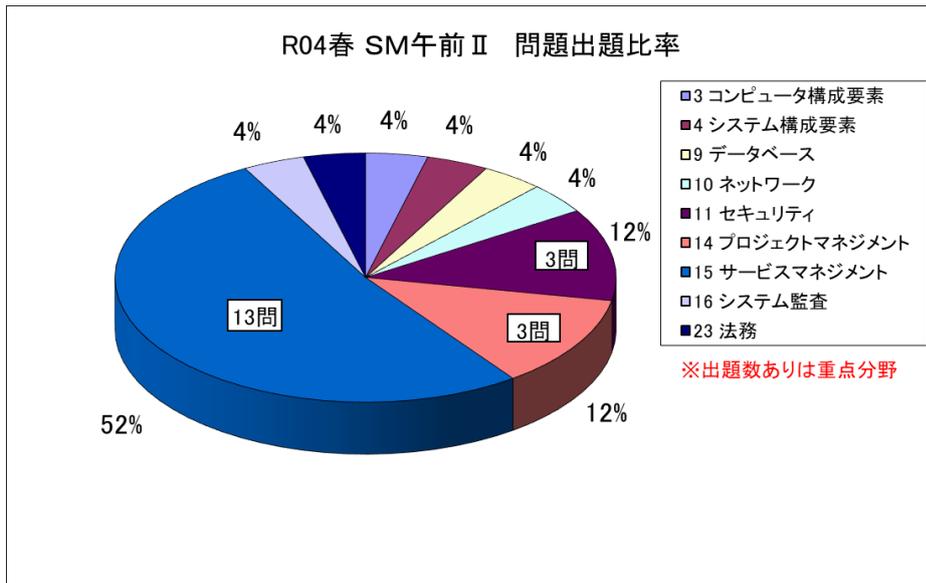
問 3 ITIL による MTBSI, MTBF, MTRS の値の大小関係

問 5 RTO (目標復旧時間) と RLO (目標復旧レベル) を定めた例

問 6 “事業関係管理”において、サービス提供者が実施すべき活動

問 12 サービスマネジメントで利用できる OSS のツール

問 16 クラウドサービスのセキュリティ評価制度である ISMAP



〔午後I試験（記述式）〕

・午後I問題の出題分野とテーマは次のとおりです。新しい内容は少ないといえますが、各問題には多くの内容が含まれているため、図表を含めて的確に問題文を読み取る必要があります。

問1 サービスレベル管理（事務用品製造販売企業） やや難

サービスレベル目標，新サービス関連組織，保守会社との契約，新サービス開始後の状況，稼働率の計算，サービス停止の詳細，インシデントの回復手順，システム部内の振り返り

問2 容量・能力管理（通信販売事業者） 普通

容量・能力計画の概要と役割，管理体制，サーバ性能計算，サービス運営会議，計画の策定，会員数と最大スループット，販売ビッグデータ分析機能の開発，新商品販売計画と開始

問3 サービスの移行（一般消費者向け商品製造販売会社） 普通

サービスレベル目標，オンプレミス案，トランザクション処理量とオンプレミス費用の見通し，PaaS 検討とサービスカタログの内容・年間費用・候補案，インシデント管理プロセスの検討

〔午後II試験（論述式）〕

・午後II問題のテーマは次のとおりです。2問ともサービスマネジメントのオーソドックスな内容だったといえます。

問1 災害に備えたITサービス継続計画

サービス継続に影響する事態，分析・評価した事業への影響，影響を極小化するための継続計画の目標，対応策，対応策が妥当と判断した理由・評価，計画の見直し・改善活動

問2 ITサービスの運用品質を改善する取組

運用チームの構成，運用品質の改善目標・設定根拠，目標達成のための方策内容と管理指標，運用チームの実態を踏まえた工夫，管理指標・目標値の達成状況，取組全体の評価，改善点

•
•
•
iTEC